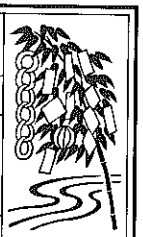

七月（大）文月（ふみづき）　亢宿

（七月七日小暑の節より　月命辛未三碧木星の月　暗剣殺東の方）

旧六月大
旧七月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	火	みづのとのとり	九紫	社会を明るくする運動、全国安全週間、国民安全の日、富士山開き、銀行の日 旧六月大	五	仏滅	たいら	觜	神よし	4.29 19.01	4.29 19.01	6.25 19.42	0.57 13.13
2日	水	きのえいぬ	八白	半夏生七時二四分、不成就日	六	大安	さだん	参		4.29 19.01	7.55 21.13	6.25 19.42	0.57 13.13
3日	木	きのとのとり	七赤	博多祇園山笠（1日～15日）	七	赤口	とる	井	ぢう日	4.29 19.01	8.49 21.44	7.01 20.13	1.31 13.44
4日	金	ひのえいぬ	六白	米国独立記念日	八	先勝	やぶる	鬼	●	4.30 19.01	10.38 22.46	8.33 21.22	2.49 14.52
5日	土	ひのとのとり	五黄	◐上弦二〇時五九分、栄西禅師忌	九	友引	あやぶ	柳	大みやう	4.30 19.00	11.33 23.19	9.36 22.03	3.43 15.37
6日	日	つちのえとら	四緑	東京入谷朝顔市（8日迄）、小つち、三隣亡	十	先負	なる	星	母倉	4.31 19.00	12.31 23.54	11.00 22.51	5.00 16.42
7日	月	つちのとのとう	三碧	小暑一三時一五分、七夕、奈良吉野蛙とび、成田不動尊祇園会	十一	仏滅	なる	張	百事よし	4.31 19.00	13.30 —	12.47 23.49	6.22 18.09
8日	火	かのえたつ	二黒		十二	大安	おさん	翼	天おん	4.32 19.00	— 14.28	7.28 19.30	7.28 19.30
9日	水	かのとみ	一白	東京浅草観音ほおずき市、鵜外忌	十三	赤口	ひらく	軫	天おん	4.33 19.00	0.56 15.32	8.23 20.37	9.13 21.35
10日	木	みづのえうま	九紫	東京浅草観音四万六千日、三隣亡、一粒万倍日、不成就日	十四	先勝	とづ	角	●	4.33 18.59	2.02 16.21	9.13 21.35	10.02 22.27
11日	金	みづのとひつじ	八白	佐原祇園祭（13日迄）	十五	友引	たつ	亢	天おん	4.34 18.59	3.01 17.03	10.02 22.27	10.49 23.14
12日	土	きのえさる	七赤	○望二〇時二五分、福島伊佐須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭、草市、十方ぐれ入り	十六	先負	のぞく	氐	神よし	4.34 18.59	3.52 17.44	10.49 23.14	11.35 23.58
13日	日	きのとのとり	六白	ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭、広島厳島神社管絃祭、一粒万倍日	十七	仏滅	みつ	房	神よし	4.35 18.58	4.39 18.23		
14日	月	ひのえいぬ	五黄	熊野那智大社扇祭	十八	大安	たいら	心	五む日	4.36 18.58	— 12.18		

月の初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、気候になろう。ただし最近は不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七日は「七夕」（たなばた）五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では技芸はもとより、書道、音楽、学習全般などの願い事まで、祈るようになった。色紙や短冊などに願いを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になっているところもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【葬】死者を送って最初のお盆を特に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のほうをわら縄で結び、盆花（桔梗の別称）などをかけ、白張りの提灯をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、盂蘭盆の略で昔から家単位の大きな行事になっている。地方により多少祀り方は違うが、精霊棚を作りお位牌を安置し、野菜、果物、ソーメン、団子などを供えるのが普通である。仏壇に簀鷹（すごも）を敷いて代用することもあり、きゅうりやなすで、牛、馬の形を作って供えるところもある。

十三日の夕刻、迎え火といって麻幹（おがら）をたいて仏を迎え、十五日に僧侶に読経してもらい、十六日に送り火をたいて冥界（めいかい）に送る。お盆の供え物は川や海に流すのが普通で、小さな舟を作り、それに灯籠を載せて流す風習も各地に残っている。

【祭】中元の習慣は中国に発する。正月十五日を上元、七月十五日を中元、十月十五日を下元、合わせて三元とし、金品をささげて贖罪（しょくざい）をする日といい伝えられており、これがわが国で形が変わり、縁故者や目上、恩人に贈り物をし、感謝の心を表すものとなったのである。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	火	ひのとみ	四緑	ぼん、山形出羽三山花祭	十九	赤口	さだん	尾	大みやう	4.36 18.57	20.52 7.37	6.12 19.36	0.41 13.00
16日	水	つちのえね	三碧	ぼん送り火、国土交通デー、やぶ入り、賽日、えんま詣り	廿	先勝	とる	箕	ぶく日	4.37 18.57	21.31 8.46	6.59 20.10	1.24 13.38
17日	木	つちのとうし	二黒	京都八坂神社祇園祭	廿一	友引	やぶる	斗	十し	4.38 18.56	22.09 9.53	7.50 20.44	2.08 14.16
18日	金	かのえとら	一白	小倉祇園太鼓（20日迄）、初伏、不成就日	廿二	先負	あやぶ	牛	母倉	4.38 18.56	22.46 10.58	8.46 21.18	2.57 14.53
19日	土	かのとう	九紫	◑下弦一一時〇八分、勤労青少年の日	廿三	仏滅	なる	女	神よし	4.39 18.55	23.24 12.01	9.52 21.55	3.55 15.35
20日	日	みづのえたつ	八白	土用三時一七分、山口祇園祭（27日迄）、京都松尾大社御田祭	廿四	大安	おさん	虚	大みやう	4.40 18.55	— 13.02	11.20 22.41	5.07 16.33
21日	月	みづのとみ	七赤	▣海の日、塩竈みなと祭、茅ヶ崎寒川神社浜降祭、天一天上	廿五	赤口	ひらく	危	母倉	4.40 18.54	0.04 14.01	13.40 23.48	6.27 18.08
22日	火	きのえうま	六白	敦賀気比神宮総参祭、熊谷うちわ祭、天しゃ、三隣亡、一粒万倍日	廿六	先勝	とづ	室	百事妨なし	4.41 18.53	0.46 14.57	— 15.14	7.36 19.42
23日	水	きのとひつじ	五黄	大暑六時四一分、宇和島和霊祭	廿七	友引	たつ	壁	大みやう	4.42 18.53	1.32 15.49	1.18 15.58	8.32 20.51
24日	木	ひのえさる	四緑	地蔵ぼん、河童忌、大田原大田山地蔵尊夏大祭	廿八	先負	のぞく	奎	神よし	4.43 18.52	2.20 16.38	2.31 16.30	9.20 21.43
25日	金	ひのとのとり	三碧	大阪天満天神祭、徳島天神祭、一粒万倍日	廿九	仏滅	みつ	婁	神よし	4.43 18.51	3.10 17.22	3.21 16.58	10.03 22.25
26日	土	つちのえいぬ	二黒	和歌山粉河祭（27日迄）、相馬野馬追大祭（28日迄）、不成就日	卅	大安	たいら	胃	ぶく日	4.44 18.51	4.02 18.03	4.01 17.25	10.42 23.02
27日	日	つちのとみ	一白	●朔七時四二分、神奈川大山阿夫利神社夏季大祭 旧七月小	朔	先勝	さだん	昴	月とく	4.45 18.50	4.56 18.40	4.36 17.50	11.17 23.35
28日	月	かのえね	九紫	中伏	二	友引	とる	畢	きこ	4.46 18.49	5.49 19.15	5.09 18.15	11.51 —
29日	火	かのとうし	八白	土用の丑、不成就日	三	先負	やぶる	觜	十し	4.46 18.48	6.43 19.47	5.42 18.41	0.06 12.22
30日	水	みづのえとら	七赤		四	仏滅	あやぶ	参	大みやう	4.47 18.48	7.37 20.18	6.16 19.06	0.37 12.51
31日	木	みづのとう	六白	大阪住吉祭、堺大魚夜市、京都愛宕千日詣り、芦ノ湖湖水祭	五	大安	なる	井	母倉	4.48 18.47	8.31 20.49	6.51 19.33	1.08 13.20

◐上弦＝上弦の月を指す